

2017年度 学校法人三幸学園 仙台医療秘書福祉専門学校

自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 鎌田 克也

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 高岸 学

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として「医療現場で医療事務・診療情報管理を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として「相手のこうしてほしいを理解し、考え続ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

・人間性を高める教育の実践

仙台医療秘書福祉専門学校では「相手のこうして欲しいを理解し、考え動ける人材」を育成することを掲げ、単に知識や技術を教育するに留まらず、人間性を高める教育を併せて展開することにより、社会で役立つ人材を排出する事を目指している。前年度は、基本スタンスである「あいさつ・礼儀・報連相」について指導強化を行い、一定の成果をあげたものの、まだ十分とはいええず、日々の生活指導において、より現場を意識した育成が必要である。

・現場のニーズの把握と、カリキュラム変更

医療・福祉現場は常に変化しており、現場に必要な知識・技術も変化している。学校教育において現場のニーズを把握するために積極的な訪問・研修・勉強会などを実施し、カリキュラムに生かす事が必要である。前年度は、積極的に現場ニーズの把握につとめ、カリキュラム編成プロジェクトが始動した。2019年度にむけてより医療・福祉業界で活かせるカリキュラムを策定していきたい。

学校関係者評価委員会コメント

着実な教育を継続している。特に人間性という意味では、仙台医療秘書福祉専門学校のブランドとして、明るく・元気・素直な生徒を、医療機関・施設に輩出しており、業界の中でも高く評価されている。今年は特に、卒業生に対してのフォローを充実させており、また、少子化の中で生徒数が大幅に増やしているため、地域NO1の学校として、高校生、在校生、卒業生、保護者、地域社会などから、より信頼される学校になってほしい。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

- ・各学科に対応する業界のニーズをさらに把握する

② 今後の改善方策

- ・医療機関や、施設訪問を積極的に実施し業界との関係性を深めていくことで、求められる人物像を正確に把握する。また業界の今後の動向・ニーズを常にヒアリングする

③ 特記事項

- ・教職員が施設訪問を実施し、業界が求める人物像や学校教育に必要な課題をヒアリングしている
- ・卒業生への訪問・ヒアリング強化により、学校教育と現場とのギャップを確認している

【学校関係者評価委員コメント】

- ・理念・目的・育成像は例年と変わらず明確に定められている。業界と連携をとり、動向・ニーズを把握して
いってほしい

(2). 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

- ・全教員に対して、運営方針の浸透が十分とは言えない

② 今後の改善方策

- ・教員研修や普段の学校教育を通じて、学校の方針や方向性を提示していく機会を増やしていく

③ 特記事項

- ・年3回定期的に全教職員に向けての会議を実施、運営方針の浸透と共に、情報共有を積極的に行なっている。また、全教職員対象にキックオフミーティングも実施し、学園のミッション・ビジョンの浸透にも力を入れている

【学校関係者評価委員コメント】

- ・運営としては健全である。
- ・上位方針を浸透させるために、病院・施設・企業においても様々な工夫を行っている。学校も全教員に方針を浸透させるために、常に工夫必要がある

(3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

- ・各分野の業界からの意見を取り入れたカリキュラムの検討

② 今後の改善方策

- ・カリキュラム編成委員会にて学科ごとの大幅なカリキュラム改定を検討している。(H31年より)
- ・学生による授業アンケートを活用・参考にしながら、各教員の教務力の把握と改善に努めていく

③ 特記事項

- ・カリキュラム編成プロジェクトを作り、現状のカリキュラム効果について分析を行った

【学校関係者評価委員コメント】

- ・教育活動は努力をしており、概ね問題ない
- ・業界との連携に関して、研修や・外部との意見交換会など、積極的に交流を増やせば質が高まる

(4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・資格合格率のさらなる向上
- ・退学率の改善

② 今後の改善方策

- ・資格合格にむけての対策補講を多数設定し、合格率の向上を目指す
- ・生徒状況を適性検査などで早期に把握し、特性に合わせた教育を行う事で退学率低減を目指す

③ 特記事項

- ・在校生に対し卒業生講話の時間を設け、卒業後の経験を後輩にも伝える機会を設けた
- ・就職求人票の東北地区一斉発送と、求人開拓の強化を行った

【学校関係者評価委員コメント】

- ・退学者に関しては、昨年と変わらなかったため、努力が必要である
- ・卒業後も学校を慕っている職員が沢山いる為、卒業生からの母校への評価は高い

(5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

- ・保護者との連携改善
- ・キャリア教育・職業教育の取組に対する認知拡大
- ・中途退学者に対してのフォロー

② 今後の改善方策

- ・保護者との連携するために、期毎に学校便覧などを郵送し学校理解を深めていく
- ・キャリア教育・職業教育の取組を入学相談室と連携し高校へ認知させていく

③ 特記事項

- ・卒業生へ就業状況のヒアリング・アドバイスを行い、卒業後も継続的なフォローを行っている
- ・課外活動やボランティアに積極的に実施し、実践力を高める取り組みを各学科行った

【学校関係者評価委員コメント】

- ・卒業生への支援をするために、工夫・努力している
- ・業界としても認知度・ニーズの拡大は必要であり、今後に期待している

(6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	3

① 課題

- ・防災対策の向上へ向けた取り組みを、継続・改善していく

② 今後の改善方策

- ・防災訓練の定期的な実施と、教員への防災対策指導を随時実施する
- ・エアコンの大規模交換を行い、学校の空調環境の整備を行う
- ・WIFIを校内に設置し、授業での動画視聴やインターネット検索ができるようICT教育の整備を行う

③ 特記事項

- ・全教職員向けに一次救命処置(心肺蘇生・AED 取扱い)の確認と、大地震マニュアルをもとに防災時対応マニュアルの講習を実施した

【学校関係者評価委員コメント】

- ・設備の改善・充実ができており、非常に良い
- ・病院・施設でもIT、AIが進んでおり、ICT教育を積極的に取り入れてほしい

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・医療・福祉業界に興味をもつ層の認知拡大

② 今後の改善方策

- ・小学校・中学校への体験授業や、施設見学などの実施

③ 特記事項

- ・前年よりも生徒数は大幅増となった。18歳人口の減少といった社会問題の煽りを受けながらも、教育の質や学校の独自性を伝えられたことが成功要因となっている
- ・在校生スタッフが学校の魅力を自身の言葉で伝えていることが入学希望者に伝わっている

【学校関係者評価委員コメント】

- ・少子化の時代において、生徒数が増えていることは、非常に良い募集活動を行っている

(8). 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

①課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

②今後の改善方法

【中期計画】

昨年度に第2次中期計画を策定している。今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である

【財務情報の公開】

なし

③特記事項

なし

【委員コメント】

・特になし

(9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・特になし

【学校関係者評価委員コメント】

・特になし

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

- ・学校施設の活用方法(外部への貸し出し・催し物)

② 今後の改善方策

- ・地域の方が利用できるような講座・イベントの立案、実施
- ・教育訓練の受託などへの実施
- ・本校校舎内にフリースクールを設置し、地域の小・中の生徒が安心して学習できる環境を提供する

④ 特記事項

- ・校内施設に地域の高齢者や園児を招いての交流会やイベントなど、地域貢献活動を行った
- ・委託事業として宮城県立仙台高等技術専門校より離職者等再就職訓練生を11名受け入れている

【学校関係者評価委員コメント】

- ・ボランティア活動は、毎年継続して行っており、学校が社会貢献によく尽力している
- ・フリースクールなど、新しい取り組みに期待したい

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

■学校運営について

方針・目標が全体に浸透しており、また運営体制もしっかり行われており、評価できる。

今後は、教職員の啓発のために、研修や意見交換会などの外部からの刺激を入れてほしい。

■教育について

技能教育については、資格合格率が非常に高く、また実践的教育も行われている。また人間力教育についても、主体的な試みをしており、卒業生フォローや保護者との連携なども、しっかりと取り組んでいる。

退学率が昨年とほぼ同数となっているため、次年度に向けて改善の努力をしてほしい。

■その他

広報活動においては、少子化の時代において生徒数増となっていることは、募集における様々な工夫がされており、非常に良い募集活動ができている。また財務状況もとても安定しており、健全な経営ができている。

地域活動・社会貢献のために、新たな取り組みを検討しているとのことで、今後に期待したい。

全般的には、評価 10 項目において、ほぼ昨年同等の数値ではあったが、それぞれにおいて工夫・啓発しており、非常に良い運営ができていると思われる。